



きんぼし
東大阪

あらゆるお客さまの要望に 応える創造力企業

ケーエム精工 株式会社

〒578-0982

東大阪市吉田本町1-10-16

TEL 072-966-4466

FAX 072-966-6677

http://www.kmseiko.co.jp/

E-mail: info@kmseiko.co.jp



代表取締役
北井 啓之

★創業
1959年(昭和34年)

★資本金
4,500万円

★従業員
120人

★主要営業品目
ナット(自動車・建築・住宅用)、
冷間圧造パーツ、ドリリングタッ
ピンねじ製造販売

★トップシェア製品
ドリルねじ(ドリルアンドドライ
ブ)

ケーエム精工(株)は、自動車のエアバック用ねじ、信号機の取り付けねじ等、高品質が問われるねじを製造する。最近ではエアバックなどに要求される『緩まない』という技術を小型の製品だけではなく、大型の製品にも取り入れ、あらゆる分野での要求に応える。また、信号機の取り付けに使用されるねじは風速90mの台風にも耐え得る品質が要求されるため、目視で1つ1つ検査をしていたが、コスト面・生産効率などを考え、独自の検査装置による検査を行うことでそれらの問題をクリアし、現在ではエアバック用ねじのシェアのほとんどを占めるようになっている。

また、1.2mm～6mmの鋼板を下穴なしで接合するのに用いられるドリルねじ(ドリル&ドライブ)には、厚い合板を接合する場合でも切粉がつかまらないリーマー付ねじもあり、高い市場シェアを占める。現在では施工性の改善はもちろん、ねじ本体の耐食性に対しても世の中のニーズに応えるため、自社で保有している表面処理ラインを改善。ステンレスねじの施工性はそのままに、耐食性を向上させたファインパシベートを開発した。

また、近年ではステンレス・チタン製温間鍛造パーツの製造に取り組んでいる。これらの製品には、独自で開発したサラコートによる焼付防止を施している。このコートは同社の製品ばかりでなく他社製品にも加工依頼がある。『接合部品をテーマに常に新製品を開発すること』を掲げ、中小企業創造活動促進法の認定を受け、更に大阪大学と共同開発で大径ドリルねじの開発を行うなど研究開発型企業として公にも認められつつある。



ケーエム精工株式会社



日本工業規格表示許可工場

ISO9001・14001 登録事業所